

## 宮崎県医師会医学会誌投稿規程

1. 編集方針：本誌は毎年2回発行し原則として宮崎県医師会医学会員の原稿を掲載する。共著の場合は原則として会員を含む。
2. 原稿の種類：「総説」、「臨床研究」、「症例」、「診療」、「地域医療」、「学会記録」、「論説」および「クリニカルカンファレンス」等のカテゴリーに分けて掲載する。「臨床研究」は原著に相当し、「診療」は「臨床研究」に準じる内容で、多数症例の解析などの論文とする。「地域医療」は基本的には「診療」と同じであるが、とくにある地域を対象とした論文とする。「論説」は医療をテーマとし著者の考えや意見、提案などをまとめた論文とする。「総説」および「クリニカルカンファレンス」は編集委員会において著者を決め依頼する。
3. 本誌における投稿論文の「倫理指針」、「患者情報保護に関する指針」、「著者のCOI開示に関する申し合わせ」については後述を参照すること。
4. 原稿の長さ：「原稿枚数一覧」を参照。
5. 原稿の書き方：論文は和文とするが、症例報告は英文も可とする。但しnative speaker's checkを受け、証明書をつける。証明書の要記載項目は論文名、著者名、校正日(YYYY/MM/DD)、校正者の署名または捺印とする。表紙を第1頁とし、全ページにページ番号を付ける。和文の場合はA4版20文字×20行、横書きとしてフォントサイズ12ポイント、ダブルスペースで印字する。英文の場合はA4版40文字×25行、フォントはブロック体としてフォントサイズ11ポイント程度、ダブルスペースで印字する。Microsoft社のWord®での作成を推奨し、原稿用紙設定の利用は不可とする。本文及び図表とも2部(1部はコピー)を送付する。なお採択された論文最終稿は電子化原稿(USBメモリやCDなど)として委員会から採用決定後に送付依頼をする。原稿の第1頁に論文標題、著者名、所属、略題(和文の場合20字以内の日本語、英文の場合20単語以内の英語)、希望するカテゴリーを上記第2項の原稿の種類から選んで記載する。第2頁に要約を書く(臨床研究800字以内、それ以外400字以内)。これは全文続けた文章とし改行しない。「まとめ」や「結び」は不要である。「臨床研究」、「症例」には最後に英文抄録、英文症例では和文抄録を付ける。論文標題、著者名、所属、5つ以内のkey wordsおよび200字以内の要約を書く。英文抄録作成に困難がある場合には編集委員会に相談されたい。英文抄録の校正などは専門家に依頼し、その費用は原則として県医師会が負担する。次の新しい頁に本文を緒言、材料(患者)および方法、結果(成績)、考察、謝辞、文献、図・写真の説明などに分けて書く。
6. 図表、写真：本文と別に一括し、挿入箇所は原稿用紙の欄外に朱色で明記する。和文の場合は図表の説明は日本語とする。但し「臨床研究」及び「症例」では英語が望ましい。表については画像ではなく文字を抽出可能な形式(Excel®またはWord®)で提出すること。
7. 文献：本文中の文献記載は引用箇所の右肩に番号を付ける。複数の文献引用の場合は、3, 5, 7)あるいは3, 9-12)のように書く。文献は引用順に番号をつけ、本文最後に一括する。著者名は3名までとし、4名以上の場合には“他.”あるいは“, et al.”とする。和文誌名の略号は医学中央雑誌収載誌目録略名表を使用し、外国の文献はIndex Medicus所載のものに準ずる。  
[原著の場合] 著者名、論文題名、雑誌名、西暦；巻：頁-頁、例) 河野 豊, 岡本哲郎, 大久保俊一, 他. 再発性多発性軟骨炎を合併した潰瘍性大腸炎の1例. 日内会誌 2001; 90: 2279-81.  
[著書の場合] 著者名、題名、監修者名(編者名)、書名、版、発行所、発行地、西暦年号：頁-頁、例) Sharpe M. Cognitive behavioral therapies in the treatment of functional somatic symptoms. Mayou R, Bass C, Sharpe M, eds. Treatment of functional somatic symptoms. Oxford University Press, Oxford England, 1995: 122-43.  
[学会抄録の場合] 著者名、抄録題名 [抄録]. 雑誌名 西暦；巻：頁、抄録番号、例) 豊田太郎, 前 伸一, 田中ひろみ, 他. ヒトiPS/ES細胞からの移植可能な芽細胞への分化誘導報の開発 [抄録]. 糖尿病 2014; 57 suppl: 119. 抄録番号YIA-4.  
[オンライン資料の場合] 著者名(編者名)、サイト名(URL)、最終アクセス日、例) National Comprehensive Cancer Network. NCCN Clinical Practice Guidelines in Oncology Myelodysplastic syndromes. version 1. 2009 ([http://www.nccn.org/professionals/physician\\_gls/PDF/mds.pdf](http://www.nccn.org/professionals/physician_gls/PDF/mds.pdf)). Accessed 2009 March 15.
8. 本誌の掲載料は無料とする。但し、頁数、図表、写真などが著しく多い論文、カラー印刷、会員外からの投稿(但し、本誌からの依頼原稿を除く)などの場合には、実費またはその一部を著者の負担とする。
9. 別刷りは実費で印刷する。但し、20部までは無料とする。
10. 原稿の採否、掲載順序、カテゴリーの決定、「学会記録」および「論説」原稿の採否と掲載内容等は編集委員会において決める。また、原稿の用語、用字などを修正することがある。
11. 本誌に掲載された論文の著作権は、宮崎県医師会に帰属する。
12. 原稿送付先：  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 宮崎県医師会館内  
宮崎県医師会医学会誌編集委員会(書留郵便、原稿在中と朱記)

### 附 則

1. 昭和52年2月22日施行
2. 平成元年8月8日改正施行
3. 平成13年3月27日改正施行
4. 平成14年1月8日改正施行
5. 平成21年7月14日一部改正施行
6. 平成29年3月14日一部改正施行
7. 平成29年9月12日一部改正施行
8. 令和5年3月28日一部改正施行
9. 令和6年3月26日一部改正施行
10. 令和6年9月24日一部改正施行

## ① 臨床研究論文等における倫理指針

本誌に投稿する場合は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(2021年3月23日制定, 2023年3月27日一部改正)を遵守すること。臨床研究論文(臨床研究, 診療, 地域医療など)の場合は, 被験者からのインフォームドコンセントおよび施設内倫理委員会(またはそれに相当するもの)による研究計画の承認を得ていること, 動物実験の場合には施設のガイドラインに準拠していることを本文中に明記する。倫理審査委員会の承認を得ている場合は, 倫理審査委員会名と承認番号, 承認日を論文中の「方法」の項に明記する。

本誌の第49巻, 第1号から, 投稿論文は原則として症例報告, 総説, 論説, 学会記録などを除き, 倫理審査委員会の承認を得たものを受け付けることとする。

## ② 症例報告等における患者情報保護に関する指針

平成17年4月に施行された個人情報保護法を受けて, 症例報告などで患者個人を特定できないようにする義務が課せられるようになり, このたび本誌として, 以下の指針を作成した。

1. 患者個人の特定が可能な氏名, 入院番号, イニシャル, 雅号は記載しない。年齢と性別は記載する。
2. 患者の現住所は記載しない。ただし, 疾患の発生場所が病態等に関与する場合は, 区域までに限定して記載することを可とする(宮崎県, 宮崎市など)。
3. 日付は, ○年○月までとし, 日は記載しない。
4. すでに診断・治療を受けている場合, 他院名やその所在地は記載しない。
5. 顔面写真を提示する際は, 目を隠す。眼疾患の場合は, 顔全体がわからないよう眼球部のみの拡大写真とする。
6. 生検, 剖検, 画像情報のなかに含まれる番号などで, 患者個人を特定できるものは削除する。
7. 遺伝性疾患やヒトゲノム・遺伝子解析を伴う症例報告では, 「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(文部科学省, 厚生労働省および経済産業省)(平成13年3月29日【平成20年12月1日一部改正】)による規定を遵守する。

## ③ 論文掲載における著者の利益相反(conflicts of interest, COI)開示に関する申し合わせ

### 1) COI申告開示の記載場所:

著者のCOI状態の開示は, 発表論文の本文の次に記載し, その後に謝辞, 引用文献を記載する。

### 2) COI申告開示の仕方:

#### (1) 申告開示のない場合

記載例:

著者のCOI開示: 本論文発表内容に関連して特に申告なし。

#### (2) 申告開示のある場合

COI申告開示: 報酬(1つの企業・団体から年間100万円以上), 株式利益(1つの企業から年間100万円以上あるいは当該株式の5%以上保有), 特許使用料(1つにつき年間100万円以上), 講演料(1つの企業・団体から年間50万円以上), 原稿料(1つの企業・団体から年間50万円以上), 研究費・助成金(1つの企業・団体から研究経費を共有する所属部局に支払われた年間総額が100万円以上), 寄付金(1つの企業・団体から研究経費を共有する所属部局に支払われた年間総額が100万円以上), 寄付講座(企業からの寄付講座に所属している), 研究, 教育, 診療とは無関係の旅費・贈答品(1つの企業・団体から年間5万円以上)の順番にて, 著者名ごとに論文発表内容に関連しCOI状態(項目ごとに基準額を超えている場合)にある企業・組織または団体名を記載する。

記載例:

著者のCOI開示: 田中太郎; 講演料(太平洋製薬), 寄付金(北海製薬, 日本海製薬), 講演料(北海道製薬), 研究費・助成金(オホーツク製薬), 寄付金(日本海薬品), 寄付講座(瀬戸内海製薬), 旅費・贈答(太平洋製薬)。

### 3) COI開示の実施日:

平成29年3月14日より実施する。

## 原稿枚数一覧

種別	原稿用紙 <sup>1)</sup> 図表・写真等を含む <sup>2)</sup>	要約	英文抄録	略題
臨床研究	30枚以内	800字以内	必要	20字以内
症例(和文)	20枚以内	400字以内	必要	20字以内
症例(英文)	20枚以内	200単語以内	和文抄録	20単語以内
診療	30枚以内	400字以内	不要	20字以内
地域医療	30枚以内	400字以内	不要	20字以内
学会記録	20枚以内	400字以内	不要	20字以内
論説	20枚以内	400字以内	不要	20字以内

1) 和文の場合A4版20文字×20行とし, 英文の場合A4版40文字×25行とする。原稿用紙設定の利用は不可とする。

2) 図表, 写真は1枚当たり原稿用紙1枚と換算する。